

シャジャハーン P.K. 教授

シャジャハーン教授はムンバイのタタ社会科学研究所 (TISS) ソーシャルスクールのコミュニティ組織開発センターの学部長と学生課の学部長を務めています。マハトマ・ガンジー大学ケララ校でソーシャルワークの修士号を取得、デリー大学で博士号を取得しています。



TISS に講師として入る前は 20 数年、直接的な現場での実践、研究、訓練を経験しています。

彼は、「共同表現の神話」と題した本と、国内外の出版社から紛争と平和、社会革新と人間中心の開発と社会企業をテーマにした分野で雑誌の編集と論文のいくつかの章を執筆しています。そして、米国、イギリス、スウェーデン、デンマーク、ベルギー、トルコ、ポルトガル、アイルランド、モロッコの大学との共同研究や学術プロジェクトに従事しています。彼はソーシャルワークと社会開発のためのグローバルアジェンダ 2020 のコアグループのメンバーで、クリティカル・エッジ・アライアンス (CEA) の創設メンバーでもあります。(これは進歩的な大学と連帯経済相互主義と社会革新 (SERESI) のグローバルアライアンスです) これに関するいくつかの非営利団体の理事会のメンバーも務めています。また、ICSW の貧困に関するグローバル・アクション (GAP) に関与し、地域のリーダー (南アジア地域) です。IASSW と欧州社会企業 (EMES) 研究ネットワークの一員でもあります。

IASSW への私のビジョン

IASSW はソーシャルワーク教育に影響を与え、グローバルに実践していく上で重要な立場にあります。取締役会に選出された場合、私が自分で設定する最も重要な目標は、ソーシャルワーク教育におけるグローバルとローカルのつながりを強化し、さまざまな方法で実践することです。IASSW の使命と目標を推進するために、以下の 2 つの行動に取り組んでいきたいと考えます。それは (1) 地球規模でのつながりと、(2) 地域との関連性の構築です。

(1) 地球規模でつながる

1. **優れた実習の世界的な日記を作成**：ニュースレターはイベントや開発を報告しますが、ISW を含むジャーナル出版物は、時間的制約とプレゼンテーションの学問的性質のために実習者たちによってあまり広く読まれていません。優れた実習の世界的な日記は、テーマ、地域、実習の性質など、さ

さまざまな分野でそれぞれまとめることができます。これは、実習者や教育者のための優れたリソースになります。

2. **様々な国連機関へ定期的に提案**： IASSW が国連の ECOSOC（経済社会理事会）で助言できる立場にあるので、第 54 回会合で行ったように、ECOSOC の会合に定期的に提案して、副次的なイベントを開催する。

(2) 地域との関連性を構築する

1. **ソーシャルワークのプログラムをローカルの社会経済的環境にコンテキスト化する**： IASSW 文書（2005 年）に設定したソーシャルワーク教育のコンテキスト化に関するソーシャルワーク教育とトレーニングのためのグローバルスタンダードに関する目標を拡大することによって、IASSW は、各国の会員組織と協議会と協力して、各国のソーシャルワーク教育のレビュープロセスを進めることができます。これは、ソーシャルワーク教育の固有性と国際化の適切な組み合わせを確証します。
2. **政策と変革の仕事**： IASSW は、特にソーシャルワークが国家福祉に組み込まれていない場所で、様々な分野における政策実践を促進できます。IASSW は、世界中のソーシャルワーカーがそのような仕事を促進するために行った重要な政策と変革に対して、2 年に一度、賞を設けることができます。

最後に、IASSW はソーシャルワーク教育についてのグローバルな議論を進め、変革する時代においても立場を明確にし、倫理と実践基準を考案し、ソーシャルワークのグローバルアジェンダを展開していくことなど、大きく貢献しています。私としてはこれに加えて、IASSW ガバナンスチームが尽力して達成しようとしていることを補うことを考えています。目的は (1) 知識ベースとコンテキスト、(2) ソーシャルワークの教育と実践、そして (3) グローバルとローカルの間のギャップを埋めることです。